STROKE LAB / CLINICAL NOTE

SLTA-ST｜目的と実施条件

正規用具・マニュアルで実施、採点した結果を転記する独自記録補助票です。
正式な問題・音声・図版・採点基準は収録していません。

対象者ID：_____　実施者：_____

実施日：_____　発症日：_____

今回確かめたい生活の困りごと／本人の希望

聞こえ・視野・覚醒・疲労・使用言語・発話運動などの条件

使用版：_____　開始・終了／休憩：_____

検査	結果の要約／未実施の理由
発声発語器官・構音	
はい－いいえ応答	
時間と金額の計算	
まんがの説明	
長文の理解	
呼称	

領域ごとに解釈します。本票で6検査を足した総合点や重症度を算出しません。
規定外の補助を試した結果は、標準条件の成績と分けて記録してください。

STROKE LAB / CLINICAL NOTE

SLTA-ST｜呼称を詳しく読む

学会の公開プロフィール説明書に示された集計範囲を確認する転記欄です。
正式な採点は使用マニュアルと正規記録用紙に従ってください。

対象者ID：_____　実施日：_____

集計範囲	段階5＋6の数／分母	備考・未実施
高頻度語	_____ / 55	
低頻度語	_____ / 25	
上記の合計	_____ / 80	
SLTA呼称	_____ / 20	
SLTAを含む全体	_____ / 100	

80語と100語は集計範囲が違います。比較前に分母・実施範囲を確認します。
未実施を自動で0点にせず、正規の集計規則を確認してください。

項目番号	最初の反応／自己修正	規定のヒント後の反応

検査後に試す支援の仮説（正式なヒントとは分ける）

STROKE LAB / CLINICAL NOTE

SLTA-ST｜談話と長文理解

点数に加え、内容の理解・保持・言語表出のどこで難しかったかを整理します。
このページは独自の観察記録で、公式採点基準ではありません。

対象者ID：_____　実施日：_____

まんが／課題番号	公式結果の転記	説明の特徴・逐語記録

観察の視点：重要な出来事／つながり／喚語／話題の逸脱／絵の見落とし
主題の把握と、流暢に話せることを分けて記録します。

長文の理解	公式結果の転記	難しかった反応・条件
物語1	_____ / 10	
物語2	_____ / 10	
物語3	_____ / 10	
ニュース	_____ / 6	

上の分母は公開プロフィールの結果欄です。教示・再提示・採点の規則は
マニュアルで確認します。聴取中の独自の文字提示は標準条件と分けます。

追加観察：短く区切る／文字を添える等で、何が変わったか

STROKE LAB / CLINICAL NOTE

SLTA-ST｜生活支援と再評価

検査から考えた支援を、本人に必要な生活場面で試します。
記録例：電話の約束を、日時のメモを使って確認し、予定どおり行動する。

対象者ID：_____　支援開始日：_____

目標｜いつ・誰と・何を伝える／理解するか

試す支援｜情報の分割・文字・選択肢・確認方法など

日付／生活場面	できた回数／機会	必要な援助・本人の反応

「機会なし」と「できなかった」を分けます。検査得点とは別の生活記録です。
援助の例：自発／声かけ／文字・写真／選択肢／相手が代行

再評価日：_____　変更した条件：_____

振り返り：本人の希望が伝わったか／援助は減ったか／別の相手にも使えたか
検査の変化：_____ 生活の変化：_____

参照：日本高次脳機能学会 SLTA-ST案内・プロフィール説明書
作成：STROKE LAB 2026.10.27｜正規検査と併用する独自様式